

体験して学ぼう！

金融・経済・起業

Financial Quest

金融クエスト

きんゆう



2

チャレンジ大航海！

間接金融と直接金融のしくみを学ぼう

体験して学ぼう!

金融・経済・起業

Financial Quest

金融クエスト

2

チャレンジ大航海!

間接金融と直接金融のしくみを学ぼう

「金融クエスト」では、ゲームの世界に入り、経済や金融に関するさまざまな課題解決を体験します。

今回の「金融クエスト」の課題は、「航海に出よう!」です。

みなさんは、小さな雑貨店を営む商人で、いつか船を出して海の向こうの貴重な品物を^{あつが}扱う貿易商になりたいという夢を持っています。

案内役のJS104と^{ジェイエスイチマルヨン いっしょ}一緒に航海に出ましょう!!



航海に出るための準備をしましょう!

JS104

動画①

はじめに



2分

Check!



航海に出るには船を用意したり、人を雇ったりと資金(お金)が必要ですよね。
 資金を集める方法(資金調達)には、「間接金融」と「直接金融」と呼ばれる方法があります。
 「間接金融」とは、会社(企業)が銀行などの金融機関から資金を借り入れて調達する方法です。
 「直接金融」とは、株式・債券を発行して広く多くの投資家から直接資金を集める方法です。
 それぞれの方法で資金を集めて航海をしよう!




CHECK

航海で利用できる船は3種類



航海に出るための船は、3種類あります。

大きな船ほど、1回の航海にかかる費用は大きくなりますが、荷物がたくさん積めるため、大きな利益が期待できます。しかし航海には、船の遭難・事故などの危険がつきもの。必ず成功するとは限りません。資金を上手に使って航海を成功させましょう。

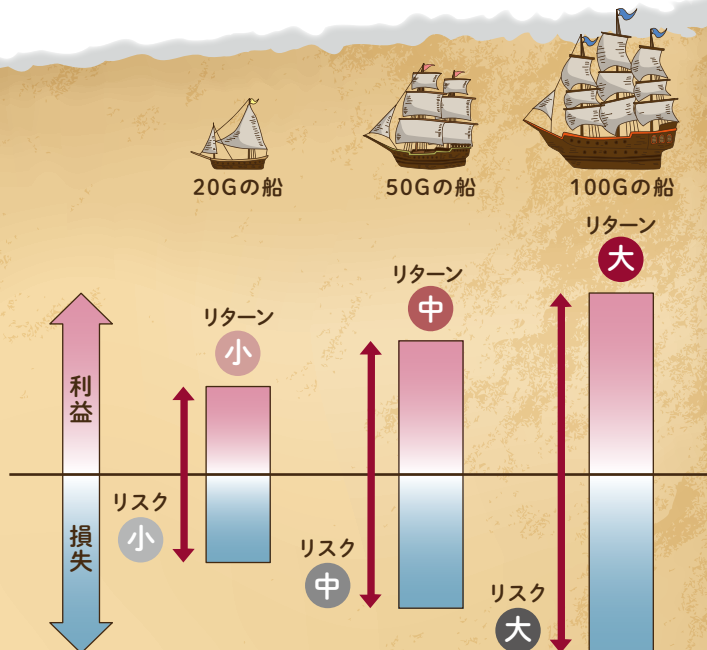
航海費用	20G	50G	100G
			
利益	40G	125G	300G



Column

リスクとリターン(イメージ)

金融の世界の「リスク」とは、リターン(投資がうまくいった時の利益、うまく行かなかった時の損失)の「振れ幅」のことです。リスクが大きい時は事業が成功すれば大きな利益を得ることができますが、失敗すると大きな損失を出してしまいます。リスクが小さい時は、事業に失敗しても損失は小さくすみませんが、大きな利益は望めません。



ワーク Work

▶ 動画②

ワーク①説明
チャレンジ大航海 | 間接金融



2分

Check!



1

チャレンジ大航海 | 間接金融^{きんゆう}

銀行から資金を借りて航海をスタート

Work
個人ワーク

手元に30Gしかない。
航海するには心もとないなあ。



銀行に借りに行こう!



いらっしやいませ。
20Gを利率10%でお貸します。
航海が終わったらお貸した20Gを返済し、
利率をお支払いください。

利率
20G + 10%



クエスト銀行

1. 銀行からの借り入れで航海を開始

自己資金 銀行からの借り入れ 事業資金

$$\boxed{30G} + \boxed{20G} = \boxed{50G}$$

A

WEBワーク /



WEBワーク

チャレンジ大航海 |
間接金融

航海費用	20G	50G	100G
利益	40G	125G	300G

※航海が失敗した場合、利益は0G

2. 航海に出よう

①航海で使う船を決めます。(2艘まで)

航海費用	
20G	50G
20G	50G
20G	50G
航海費用合計	B G

②サイコロを振って航海に挑戦!(1艘につき1回)



④航海の結果(成功/失敗)と、利益を記入します。

航海の結果	利益
航海1回目 ○×	40G <small>※記載例は加算しない</small>
航海1回目 ○×	G
航海2回目 ○×	G
利益合計	D G

②事業資金から航海費用合計を引き、残金を出す。

$$\text{事業資金 } 50\text{G} - \text{航海費用合計 } \text{B G} = \text{残金 } \text{C G}$$

⑤残金と航海の利益を合計する。

$$\text{残金 } \text{C G} + \text{利益合計 } \text{D G} = \text{事業資金 } \text{E G}$$

3. 借入金の返済と利子の支払い

航海前に銀行から借りた20Gを返済し、利子2G(10%)の支払いをします。

20Gと利子をお支払いください

$$\text{事業資金 } \text{E G} - \text{銀行借入金の返済 } 20\text{G} - \text{利子}(20\text{G} \times 10\%) \text{ } 2\text{G} = \text{あなたの持ち分 } \text{F G}$$



4. 次の航海の資金

次の航海の資金にはいくら使えますか?
結果がマイナスになった場合は、その金額を記入しましょう。

$$\text{次の航海の資金 } \text{F G}$$

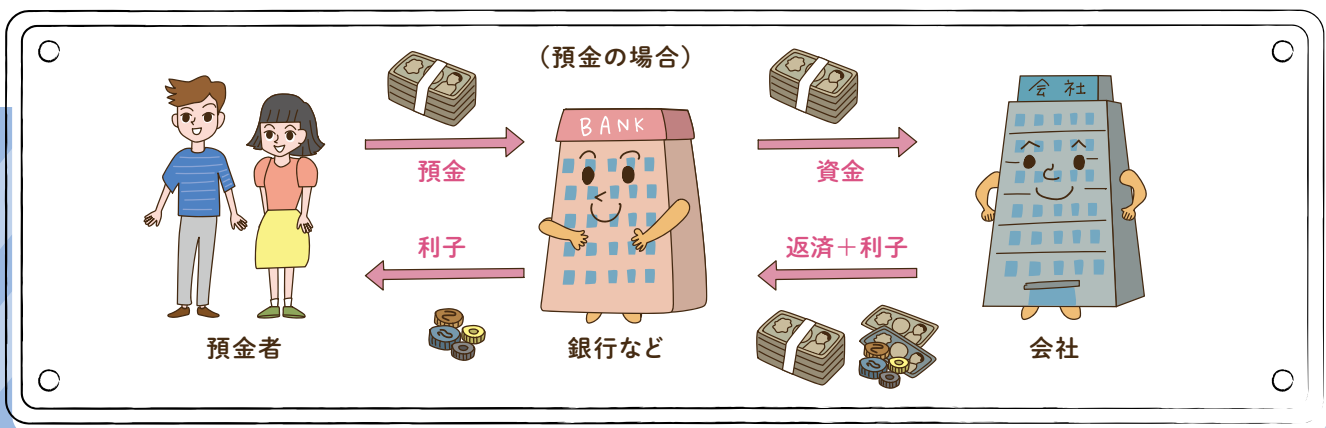
間接金融

会社(企業)が銀行などの金融機関を通じて資金を借り入れて調達する方法です。

お金を必要としている会社は、まとまった額を借りることができますが、借りたお金は利子をつけて返済しなければなりません。

私たち預金者は、預けたお金が貸し付けられる会社を選べません。

その代わりに、銀行がお金を貸した会社が倒産したときは銀行が損失を負い、預金者は負うことはありません。



ワーク Work

ワーク①振り返り・ワーク②説明
チャレンジ大航海 | 直接金融

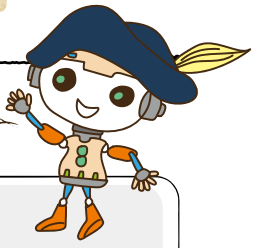


Check!
2分

2

チャレンジ大航海 | 直接金融 | 仲間と株式会社を作って航海をスタート!

応援してくれる人たちと
一緒に事業を始めよう!



1. グループで株式会社をつかって事業を開始

WEBワーク

WEBワーク
チャレンジ大航海 | 直接金融

1人の出資金 出資者(グループの人数) 事業資金

30G × 人 = G

航海費用	20G	50G	100G
利益	40G	125G	300G

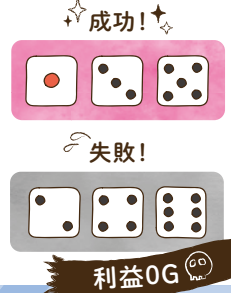
※航海が失敗した場合、利益は0G

2. 航海に出よう

①航海で使う船を決めます。(4艘まで)

航海費用	20G	50G	100G
記載例	20G	50G	100G
	20G	50G	100G
	20G	50G	100G
	20G	50G	100G
	20G	50G	100G
航海費用合計	<input type="text" value=""/>		

③サイコロを振って航海に挑戦!
(船1艘につき1回)



④航海の結果(成功/失敗)と、利益を記入します。

航海の結果	利益
航海1回目 <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>	40G <small>※記載例は加算しない</small>
航海1回目 <input type="radio"/> <input type="radio"/>	G
航海2回目 <input type="radio"/> <input type="radio"/>	G
航海3回目 <input type="radio"/> <input type="radio"/>	G
航海4回目 <input type="radio"/> <input type="radio"/>	G
利益合計	<input type="text" value=""/>

②事業資金から航海費用の合計を引き、残金を出す。

事業資金 航海費用合計 残金

G - G = G

3. 配当の分配

出資者である株主に利益の半分を配当として分配します。
ただし、すべての航海が失敗した場合は配当はゼロになります。

$$\left(\text{D} \boxed{G} \div 2 \right) \div \text{Z} \text{人} = \text{E} \boxed{G}$$

※小数点以下は切り捨てます。

4. 次の航海の資金

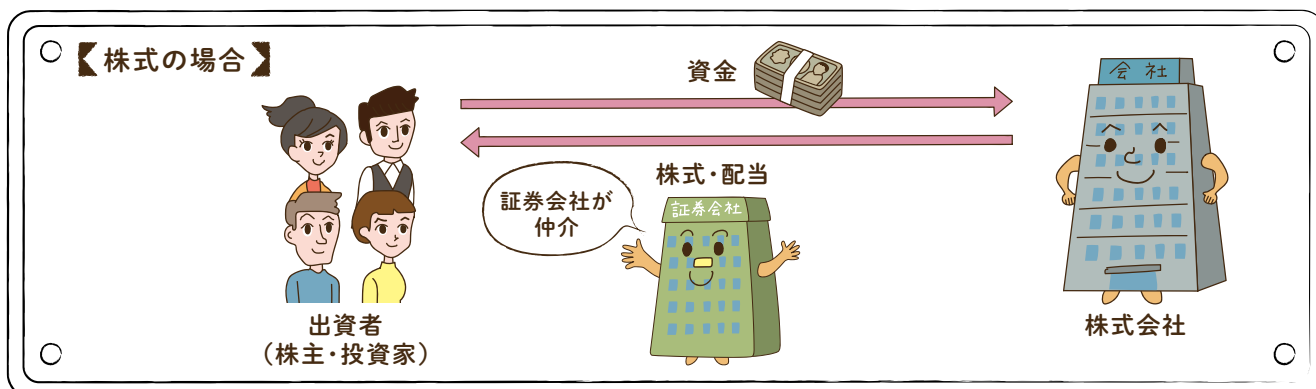
手元の残金と利益の半分が次の航海のための資金です。

$$\text{C} \boxed{G} + \left(\text{D} \boxed{G} \div 2 \right) = \text{F} \boxed{G}$$

直接金融

会社(企業)が、「株式」や「債券」を発行して、広く多くの投資家から直接資金を集める方法です。

株式の場合、会社は、集めた資金は会社が続く限り返す必要はありません。利益が出た場合には株主に配当を支払う必要があります。一方、株主は出資(応援)する会社を選び、また、その会社が成長していけば保有している株式自体の値上がりも期待することができます。万が一、会社が倒産した場合でも株主は出資した金額以上の損失を負う必要はありません。このことを「有限責任」といいます。



債券の場合は、企業や国などが直接多くの投資家に呼び掛けて資金を集め、債券(社債や国債)などを発行します。株式との違いは、債券は借金であり、あらかじめ決められた期限に資金を返さなければいけません。また借りている間はお金を貸してくれた人に利子を支払う必要があります。

CHECK

リスクの分散

すべての資金を一度に投資をすると、失敗した時にすべての資金を失ってしまいます。でも、複数の船に分けて(分散)投資すれば、全て失敗する確率が小さくなるので、資金をすべて失うリスクを小さくすることができます。

動画④

ワーク② 振り返り

2分

Check!

50Gを一括で投資!

50G

リスク大
失敗の確率 $\frac{1}{2}$

✗

航海失敗 0G

50Gを分散して投資!

20G

失敗の確率
 $\frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{4}$

リスク小

残金10G

✗

航海失敗 0G

◎

航海成功 40G

ワーク Work

動画⑤

ワーク③説明
チャレンジ大航海 | 大事業



2分

Check!



3

チャレンジ大航海 | 大事業 | 大事業に投資しよう

Work
個人ワーク

街の中で流行り病が広がっています。



流行り病の薬草が遠い国で見つかりました!

人々からお金を集めて、より多く、より大きな船で薬草を取りに行くことにしました。

1. 先生の大事業に投資しよう!

航海費用	100G	200G	500G
大成功の利益	300G	700G	2000G
成功の利益	150G	350G	1000G
失敗の利益	60G	140G	400G

あなたの自己資金30Gを投資(出資)しよう。
クラスで集まった資金の合計を出しましょう。

$$1 \text{ 人の出資金 } 30\text{G} \times \text{投資する人の数 } Z \text{ 人} = \text{事業資金 } A \text{ G}$$

なるべく多くの船を選ぶと
リスク分散になるよね。

2. 集まった事業資金を使って航海へ

①航海で使う船を決めます。

航海	航海費用
1回目	100G 200G 500G
1回目	100G 200G 500G
2回目	100G 200G 500G
3回目	100G 200G 500G
4回目	100G 200G 500G
5回目	100G 200G 500G
6回目	100G 200G 500G
航海費用合計	B G

③代表者がサイコロを
ふって航海に挑戦!

大成功



+成功



失敗



④航海の結果と、利益を記入します。

航海の成功確率	利益
大成功 成功 失敗	※記載例は加算しない 150G
大成功 成功 失敗	G
大成功 成功 失敗	G
大成功 成功 失敗	G
大成功 成功 失敗	G
大成功 成功 失敗	G
大成功 成功 失敗	G
利益合計	D G

②事業資金から航海費用の合計を引き、残金を出す。

$$\text{事業資金 } A \text{ G} - \text{航海費用合計 } B \text{ G} = \text{残金 } C \text{ G}$$

選べる船は最大6艘です。

WEBワーク /



WEBワーク

チャレンジ大航海 | 大事業

3. 配当の分配

出資者である株主に利益の半分を配当として分配します。

$$\left(\overset{\text{利益}}{\boxed{G}} \div 2 \right) \div \overset{\text{投資した人の人数}}{\boxed{Z} \text{ 人}} = \overset{\text{一人当たり配当}}{\boxed{E} \text{ G}}$$

※小数点以下は切り捨てます。

4. 次の航海の資金

手元の残金と利益の半分が次の航海のための資金です。

$$\overset{\text{残金}}{\boxed{C} \text{ G}} + \left(\overset{\text{配当後の資金=利益(D)}}{\boxed{D} \text{ G}} \div 2 \right) = \overset{\text{次の航海の資金}}{\boxed{F} \text{ G}}$$

航海が成功した場合の、その後を見てみましょう!

動画⑥
 まとめ
 1分
 Check!



大きな船で、多くの薬草を持って帰ってくれたから多くの人が元気になった。
 少ない資金でも多くの人から資金を集めることができれば、大きな事業ができて、より社会の役に立てるんだね。

会社(企業)は、みんなが応援して出したお金を使って、事業を通じて経済的な利益の追求とともに社会的な豊かさを追求しているんだよ。投資家が会社に投資をすることで、会社の事業支援となり社会の発展にもつながるんですね。これらは、SDGs(持続可能な開発目標)にもつながります。





ワークシート ①

名前:

資金調達の二つの方法について整理してみよう!

()に適切な言葉を入れてください。

【間接金融とは?】

会社(企業)が事業のための資金を
(銀行など)から借りて集める

【直接金融とは?】

会社が株式や債券を発行して
直接(投資家)から資金を集める

下の□から言葉を選び()に適切な言葉を入れてください。

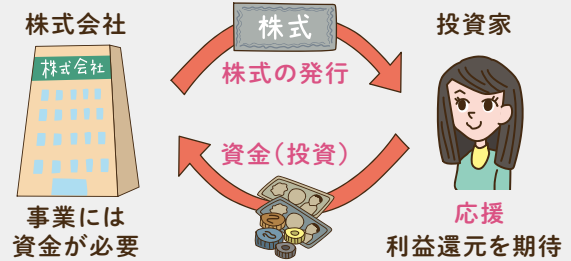
間接金融	直接金融
<p>【資金の出し手(預金者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資する会社を(選べない)。 ・万が一、会社が倒産した時のリスクを預金者は(負わない)。 	<p>【資金の出し手(出資者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資する会社を(選べる)。 ・万が一、会社が倒産した時のリスクを出資者(投資家)は(負う)。
<p>【資金の借り手(会社)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借りたお金は返す(必要がある)。 ・会社の信用によるが、まとまった額を一か所から借りることができる。 	<p>【資金の受け手(会社)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式の場合、出資してもらった資金は返す(必要がない)。 ・株式の場合、利益が出れば(配当)を支払う。

金利 株主 配当 選べる 選べない 必要がある 必要がない 負う 負わない

株式会社

会社はモノやサービスを提供して、利益を得ることを目的に活動しています。会社が活動していくためには、たくさんの資金（お金）が必要になります。その資金を外部から調達する方法の1つに、「株式」を発行して投資家から集めるという方法があります。

株式を発行して集めた資金によって事業を行っている会社のことを、「株式会社」と言います。

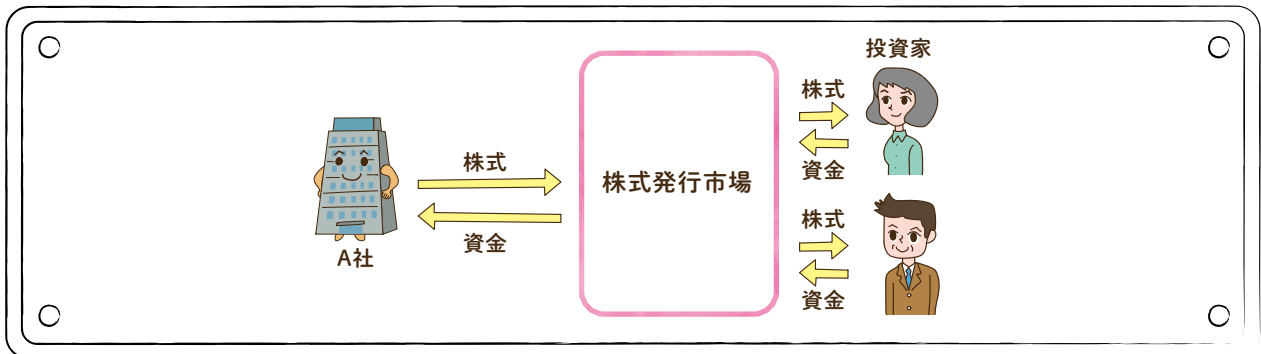


証券市場

株式や債券（これらをまとめて、有価証券といいます。）が取引される市場のことを証券市場といい、証券市場は「発行市場」と「流通市場」から成り立っています。

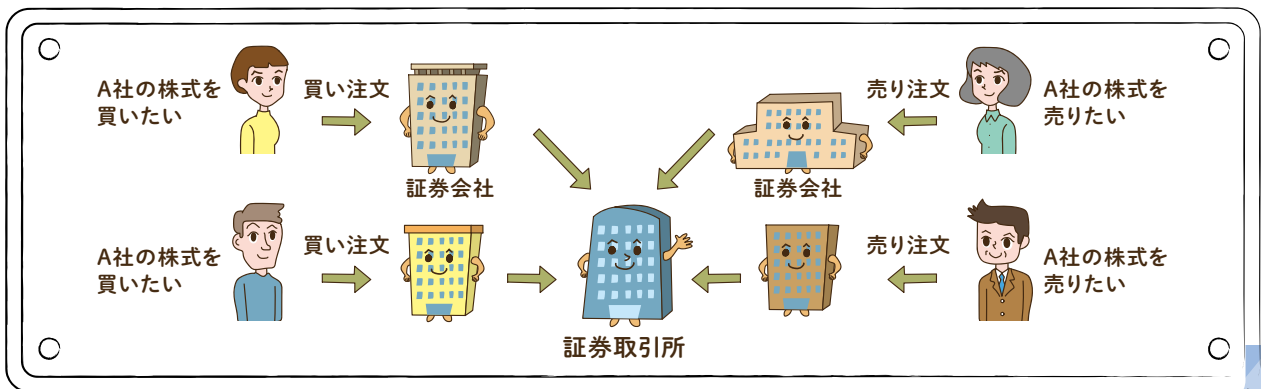
発行市場（株式の場合）

会社が資金を集める（資金調達）ために自分の会社の株式を発行して、初めて投資家に売る市場です。会社が資金を集めるのに直接関係するのは、発行市場です。



流通市場（株式の場合）

すでに発行されている株式を、投資家の間で売ったり買ったりする市場です。もし発行市場しかなかったら、投資家が一度買った株式をずっと持っていなければならず、お金の換え（か）えることができなくなります。流通市場があることで、株式をいつでも売ってお金に換えることができ、投資家は安心して株式を買うことができます。



株式の上場

会社が、証券取引所が定める基準をクリアして取引所で売買することが認められることを「上場^{じょうじょう}」と言います。

株式が上場されると、投資家に対し経営情報を始めとする会社の情報が多く公開されるため、投資対象としての信用度が高まります。また、上場した会社にとっては、新たな株式の発行による資金調達がいきなりやすくなります。さらに上場することにより大きな社会的責任を負うこととなりますが、会社の知名度や社会的な信用度も高まり、有能な人材の確保や業務拡大の可能性も高くなるメリットがあります。



2

チャレンジ大航海!

間接金融と直接金融のしくみを学ぼう

2021年4月 発行

2023年3月 改訂

2024年8月 改訂

制作 金融経済教育推進機構(J-FLEC)

〒103-0022

東京都中央区日本橋2丁目3番1号

室町古河三井ビルディング9F

制作者の許可なしに本テキストの内容の全部または一部を無断で複写、複製または転載することを固く禁じます。なお、これらの承諾については、金融経済教育推進機構まで、お問い合わせください。



年 組 番